

慶應義塾大学 論理と感性のグローバル研究センター

2022 年度末公開成果報告会 プログラム

日時：2023年3月2日(木) 12:30-16:45

場所：南館地下4階 ディスタンスラーニング室

開会の挨拶 倉田敬子（文学部長）

Session I 12:35～13:55 （座長：柏端達也）

文化人類学グループ

- 野地 洋介（社会学研究科）

『心臓突然死を巡るリスクテクノロジーの医療人類学：未来予測と当事者との相互作用』

社会心理学グループ

- 平石 界（文学部）

『社会心理学の一般化可能性問題を整理する』

哲学・論理学グループ

- 窪田 愛（本センター）

『対立的談話関係「逆接」「譲歩」に見る自然言語の特徴』

生物心理学グループ

- 瀬口 瑛子（本センター）

『鳥類における社会的絆とその神経基盤』

休憩

Session II 14:15～15:15（座長：安藤寿康）

発達科学グループ

- 星野 英一（本センター）

『ASD リスクの異なる6ヶ月乳児における母声・他者声の音声処理の脳機能結合』

美学美術史学グループ

- 後藤 文子（文学部）

『改革庭園の芸術学的再考をめぐって』

遺伝と教育グループ

- 藤澤 啓子（文学部）

『保護者は『良い』保育園を選ぶことはできるのか』

休憩

Session III 15:35～16:45（座長：皆川泰代）

民族学考古学グループ

- 山口 徹（文学部）

『景観の民族考古学－経験されたトンガレヴァ環礁のマラエ（祭祀遺跡）－』

感性科学グループ

- 川畑 秀明（文学部），周一禎（本センター），佐野 貴紀（社会学研究科）

『人工知能技術を用いた感性科学研究』

認知神経科学グループ

- 梅田 聡（文学部）

『気圧感知のメカニズムと精神・神経の障害』

閉会の挨拶 梅田聡（文学部・本センター長）

16:45 閉会

主催：慶應義塾大学 論理と感性のグローバル研究センター (<http://www.carls.keio.ac.jp/gcarls/>)

お問い合わせ先：本報告会事務担当 E-mail: grcls.contact-group@keio.jp (森井)

企画：論理と感性のグローバル研究センター運営委員会